



校訓 『向学』『友情』『創造』

回覧用

古賀北中 学校だより 9月号

令和4年9月22日 No.5

古賀市立古賀北中学校
校長 早川 昌吾

生徒数 554名	
1年生	188名
2年生	187名
3年生	179名

全国・九州大会 出場！！ 新体操、バドミントン

令和4年度中学校総合体育大会において北中の仲間がまた素晴らしい成績を収めました。

新体操の九州大会で3年上野百々果さんが個人総合2位、リボン1位を獲得し、全国大会へ出場。バドミントン女子個人で、3年桑名虹々萌・井手上穂香ペアが福岡県大会で2位、九州大会に出場しました。



社会人として必要な「礼儀」を学んだ 1・2年生 接遇マナー講座

毎年、古賀市の学校において「社会教育接遇マナー研究所」代表の俵純子先生をお招きし、研修させてもらっています。

今年も俵先生の情熱あふれるお話や「相手を思いやる所作」を学び、感銘を受けた生徒も多かったようです。マナーや礼儀とは、「スキル」よりも「思い」や「相手意識」の方が大切であり、それが自分の自己実現にもつながる、ということを学ぶことができました。



2年生「思い」を伝え合い、仲間との絆を深めた「鹿児島 修学旅行」



台風12号の接近で、ハラハラドキドキの出発前でしたが、なんとか鹿児島へ出発することができました。実行委員長の高山さんをはじめ各学級の実行委員が先生達と綿密に準備を重ね、当日を迎えることができました。現地での様子は、仲間を思いやる行動、支え合う姿、リーダーの思いのこもった呼びかけにしっかりと応えることができるなど、「集団力」が大いに高まった3日間でした。

知覧特攻平和会館では、館内の見学と講和を通じて、過去の悲しい出来事を知るだけにとどまらず、これから生きていく自分達に何が大切かを考えさせてもらえました。

班別自主研修では、鹿児島市内を班員同士で支え合い、楽しみ合い、喜び合っている姿がとても印象に残りました。

桜島では、小噴火による噴煙、火山灰を実際に体験するという貴重な経験をすることもできました。

ホテルにおいては、見る度に行動が洗練され、食事の際の黙食、係会、班会議の整然とした態度と行動を見させてもらいました。

ここで高まった「集団力」を次の学校のリーダー学年になる上での「自信」にしてほしいと思います。また、「仲間と力を合わせることは、尊いことであり、楽しいことだ」と、確信してほしいと思います。

実行委員長 高山さんの解散式での話（一部抜粋）

始めは生活面でそれぞれの係があまり動けていなかったり、声かけが少なかったりしましたが、最後は自分の役割に責任を持ち、その場に応じた行動ができていて、成長することができました。3日間たくさん学び、考えることができたと思います。そして、仲間と様々な思い出を創ることができました。(中略) この3日間で「集団力」という花を咲かせることができました。学んだことを生かす場はこれからもたくさんあります。スローガンにある「共に創り、挑戦し、新たな花を咲かせよう」を達成できるよう全員で頑張っていきましょう。本当に今までありがとうございました。



「観点別学習評価」と「評定」について (知っている・できるだけではなく、「どう活かせるか」を重視します)

昨年度より全面実施となった学習指導要領(国が定めている教育課程の基準)の改定のねらいは、「社会に開かれた教育課程」といわれているように、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会とが共有していこうということです。そして、その実現のために、学校で子供たちに身につけさせる三つの「資質・能力」がまとめられました。

これは、今までも重視されていたことですが、より教える側が「学んだことを、社会や実生活で活かせるか」という視点で授業および評価をするように、ということです。

- | |
|---|
| <p>(1) 実際の社会や生活で活かせる知識・技能
 「何を理解し、何ができるか」(単に「知っている」「できる」ではなく)
 ○知識・・・知識を身につけるだけでなく、以前に学んだ知識と関連付けたり組み合わせたりしていくことにより、深く理解し、社会における様々な場面で活用できる知識
 ○技能・・・一定の手順や段階を追って身につく個別の技能のみならず、獲得した個別の技能が自分の経験や他の技能と関連付けられ、変化する状況や課題に応じて活用できる技能</p> |
| <p>(2) 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等
 「理解したことをどう使うか」 下の三つの過程をうまく組み合わせる能力を育てます。
 ○問題を見いだす→解決の方向性を決定し、解決方法を考える→結果を予測しながら実行する→振り返って次の問題発見・解決につなげていく力
 ○調べたり、選んだ情報を基に自分の考えをつくる→文章や対話によって表現したり、伝え合ったりする→多様な考えを理解したり、集団としての考えをまとめたりする力
 ○思いや考えを基に構想する→意味や価値を創造していく力</p> |
| <p>(3) 学んだことを社会や人生に活かそうとする、学びに向かう人間性等
 「どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか」(社会や実生活に活かそうとする)
 ○主体的に学習に取り組む態度も含めた学びに向かう力
 ○メタ認知・・・自己の感情や行動をコントロールする力、自らの思考を客観的に捉える力など
 ○多様性を尊重する態度や協働する力、チームワーク、感性、優しさや思いやりなど、人間性
 ○持続可能な社会づくりに向けた態度</p> |

これら3つにまとめられた「育成すべき資質能力」を育てるために、以下のような流れで「評価」します。

